

06款 農林水産業費		01項 農業費		02目 農業総務費		
事業名 農畜産物放射能被害対策費					単位：円	
事業内容	市内3カ所に保管している利用自粛牧草を、最終処分するまでの間、一元管理できる用地へ移設する。			計 画 値	平成27年度末保管状況 東部保管施設（青笹） 1,855個 338.38 t 中部保管施設（附馬牛） 2,102個 636.83 t 西部保管施設（宮守） 669個 194.63 t	
	東部保管施設（青笹）で保管している利用自粛牧草を、中部保管施設（附馬牛）及び西部保管施設（宮守）へ移動した。 このことにより、市内3カ所にある保管施設が2カ所に集約することができた。				実 績 値	平成28年度末保管状況 中部保管施設（附馬牛） 2,382個 703.20 t 西部保管施設（宮守） 2,244個 466.64 t
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
22,188,000	17,539,244	16,956,347	0	0	582,897	

06款 農林水産業費		01項 農業費		02目 農業総務費		
事業名 農畜産物放射能被害対策費（原木栽培しいたけ）（繰越明許費）					単位：円	
事業内容	東京電力(株)福島第一原子力発電所事故由来の放射性物質の影響により流通規制となった原木栽培しいたけの流通規制解除に向けた、除染作業を実施する。 当該事業は基準値を超えたほだ場の除染作業を行うものであるが、検査により基準値を超えた生産者が多く発生し、ほだ場除染の作業日程調整に不測の日数を要したため、翌年度へ繰り越して実施する。			計 画 値	ほだ場除染 5,510m ²	
	原木しいたけの生産継続を促すため、ほだ場の汚染落葉層を除去し、放射線量の低減を図った。 また、雨水跳ね返し防止を目的とする麻こも材の敷設方法を見直し、ほだ場全体を覆う取組を行った。さらに、岩手県と連携して生産者を対象とした放射性物質の勉強会を開催し、国の指針に基づく栽培管理の徹底を図った。				実 績 値	ほだ場除染 5,910m ²
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
6,319,000	6,317,790	6,317,790	0	0	0	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					中山間地域等直接支払事業費	単位：円
事業内容	<p>中山間地域等農業生産条件が不利な地域の農用地において、耕作放棄地の発生防止や多面的機能の確保を図るため、集落協定等に基づき5年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等に対して交付金を交付する。協定に定められた、農用地管理及び農業生産活動における体制整備強化の目標が達成されるよう、積極的に支援を行う。</p>			計 画 値	農用地管理の目標達成協定 61協定 農業生産活動における体制 整備強化の目標達成協定 49協定 取組農用地の割合 22.9%	
	成果	<p>3集落の面積追加により対象農用地面積が、平成27年度の8,145,768㎡に対し平成28年度は8,160,537㎡となり、14,769㎡微増した。一方で農用地の地目修正や農地転用により76,980円の過年度返還金があった。集落の活動については、全ての協定において農用地管理の目標が達成され中山間地域における農用地の保全がなされた。また、担い手への作業委託や農業機械の共同利用など、事業を通じて地域の営農体制整備が図られ、農業生産活動における体制整備強化の目標を設定した49協定全てで目標が達成された。</p>			実 績 値	農用地管理の目標達成協定 61協定 農業生産活動における体制 整備強化の目標達成協定 49協定 取組農用地の割合 21.4%
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
122,343,000	122,296,566	91,801,803	0	76,980	30,417,783	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					野生鳥獣害防止対策事業費	単位：円
事業内容	<p>野生鳥獣による農作物被害の発生及び増加防止を目的に、遠野市鳥獣被害対策実施隊を中心とした捕獲対策や農家等が行う防除対策に対し必要な対策を講ずる。</p>			計 画 値	ニホンジカ捕獲計画 1,000頭 ツキノワグマ捕獲計画 10頭 カラス捕獲計画 1,000羽 電気柵導入 100件 農作物被害額 115,000千円	
	成果	<p>ニホンジカ対策では、鳥獣被害対策実施隊を中心に捕獲応援隊制度を活用しながら農地周辺部におけるわなによる捕獲を強化するとともに、遠野地方有害鳥獣駆除協議会が行う事業と連携しながら継続して生息数の増加防止に努めた。ツキノワグマは、目撃、出没情報が多発し人的被害や農作物被害等の増加が懸念されたが、適切な対策や捕獲を行い被害防止に努めた。また、カラス対策についても、市内6カ所に設置しているわなを活用した捕獲により農作物被害の減少に努めた。防除対策では、電気柵の設置支援を継続し、特に3戸以上がまとめて広範囲の農地を防除する取組を奨励することにより、食害による新たな農作物被害の発生防止に努めた。</p>			実 績 値	ニホンジカ捕獲 951頭 ツキノワグマ捕獲 49頭 カラス捕獲 814羽 電気柵導入 41件 農作物被害額 96,745千円
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
14,198,000	13,463,983	325,070	0	13,000,000	138,913	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					農地等災害復旧支援事業費	単位：円
事業内容	農業基盤の保全と経営の安定を図るため、災害により被害を受けた農業生産施設等の災害復旧事業を行う場合に要する経費の2分の1を補助する。台風等の大雨により冠水被害を受けた収穫前の水田、畑作物を対象に、いもち病等を防ぐため農薬散布に係る費用を助成する。			計画値	被害箇所	265カ所
	8月に発生した台風7号、台風10号の影響により被害を受けた農業生産施設等に対し補助を行った。復旧工事が冬期間と重なり施工できなかったことから、年度内に事業完了する件数は少なく、29年度に繰越しとなった。年度内に工事が完了したほ場では早期から次年度の作付に対し準備することができた。			実績値	復旧箇所	7カ所
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
35,602,000	947,715	0	0	803,000	144,715	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					わさび生産振興事業費	単位：円
事業内容	本市の重要産業である「わさび」の生産拡大を図るため、生産・供給体制強化と需要拡大に向け取り組むとともに、平成29年本市で開催される全国わさび生産者大会の開催に向けた準備を進め、「遠野宮守わさび」の生産振興を推進する。			計画値	根わさび生産量	7 t
					畑わさび生産量	8 t
					わさびの年間販売額	4,100万円
成果	「遠野宮守わさび」の生産拡大を図るとともに、更なる知名度アップと需要拡大に向け市場との関係構築を支援した。また、畑わさびの生産量拡大を支援し新たな地域産業の発展を図った。また、平成29年に本市で開催される全国わさび生産者大会に向け体制を整備した。			実績値	根わさび生産量	7.3 t
	<ul style="list-style-type: none"> 遠野わさび公社への事業費補助 販路拡大事業、技術指導事業 全国わさび生産者大会岩手大会 実行委員会の設置、会議開催 				畑わさび生産量	8.2 t
					わさびの年間販売額	4,068万円
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
7,025,000	6,948,054	0	0	0	6,948,054	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					経営所得安定対策推進事業費	単位：円
事業内容	<p>農業者の農業経営所得安定対策及び水田活用の直接支払交付金の円滑な推進を図るため、遠野市農業再生協議会が実施する推進活動や要件確認等に必要経費を助成する。</p> <p>具体的には、経営所得安定対策等の制度の普及推進活動のほか、申請書類等の配布、回収、整理、取りまとめ、対象要件確認などの活動に対し、補助金を交付する。</p>			計画値	<p>米の直接支払交付金の交付面積 1,750ha</p> <p>主食用水稲面積に対する申請面積の割合 92%</p>	
	<p>農業者へのパンフレット配布、広報や遠野テレビを活用した申請受付等の周知により経営所得安定対策制度への加入促進を図るとともに、関係機関・団体の協力による申請受付や現地確認、実績確認など、遠野市農業再生協議会の事業実施を支援した。</p> <p>米の直接支払交付金の申請は、主食用水稲の作付面積が増加したことにより概ね計画値を達成したほか、飼料用米やWCS用稲等の新規需要米、飼料作物などへの適切な転作誘導により、水田活用や農業者の経営所得安定に寄与した。</p>				実績値	<p>米の直接支払交付金の交付面積 1,746ha</p> <p>主食用水稲面積に対する申請面積の割合 91.9%</p>
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
8,540,000	8,540,000	8,540,000	0	0	0	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					青年就農給付金事業費	単位：円
事業内容	<p>青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農初期段階の所得を確保する給付金の交付を行う。</p> <p>【支給要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則として45歳未満で独立・自営就農であること 就農5年度には、農業で生計が成り立つ実現可能な経営開始計画を立てられる。 地域農業マスタープランに中心となる経営体として位置づけられているなど <p>【給付額】</p> <p>個人での就農 150万円/年 夫婦での就農 225万円/年</p>			計画値	<p>給付経営体 14経営体</p> <p>夫婦 3経営体</p> <p>単身 9経営体</p>	
	<p>経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対し、安定した生活が営めるよう給付金を交付した。</p> <p>また、遠野農林振興センター農業振興課、遠野普及サブセンター等と連携して巡回訪問を実施。就農状況及び農地の確認を行い、新規就農者のフォローアップ支援に努めた。</p>				実績値	<p>給付経営体 15経営体</p> <p>夫婦 4経営体</p> <p>(新規1 継続3)</p> <p>単身 11経営体</p> <p>(新規1 継続9 再開1)</p>
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
23,604,000	23,603,439	23,603,439	0	0	0	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					農地中間管理事業費	単位：円
事業内容	地域マスタープランを実現するために、農地集積への協力者に対して農地集積協力を交付する。 農地集積協力金 1 経営転換協力金（1戸当たり） ・H28年5月配分計画告示分 0.5ha以下 300千円 0.5ha～2.0ha 500千円 2.0ha～700千円 ・H28年12月配分計画告示分 25千円/10a（上限700千円） 2 地域集積協力金 2割超5割以下15千円/10a 5割超8割以下21千円/10a 8割超27千円/10a			計画値	経営転換協力金 30戸（30ha）	
	成果	地域マスタープランを実現するために、農地集積への協力者に対して農地集積協力を交付した。 農地集積協力金 1 経営転換協力金 5,497.5千円 ・H28年5月配分計画告示分 0.5ha以下 300千円×3戸＝900千円 0.5ha超2.0ha以下 500千円×7戸＝3,500千円 ・H28年12月配分計画告示分 5戸 面積439a×25千円/10a＝1,097.5千円			実績値	経営転換協力金 15戸（13.78ha）
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,946,000	5,942,967	5,497,500	0	445,467	0	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費	
事業名					水田フル活用推進事業費	単位：円
事業内容	生産者が安心して米づくりに取り組める環境を整備するため水田活用の取り組みを支援し、遠野産米の品質向上と需要のある米づくりを推進する。 1 団地化一斉防除 水田の団地化によるカメムシの集団防除に対して支援することで効果的な防除体制の確立を図る。 2 飼料用米・いわてっこの作付拡大支援 今後、需要の増加が見込まれる飼料用米と、消費者に生産を求められている「いわてっこ」の出荷・販売へつなげる支援を行い作付誘導を図る。 3 交流推進事業 生産者と消費者の顔が見える交流を行うことにより、消費者との信頼関係を築き、遠野産米の安定的な販路確保を図る。			計画値	カメムシ被害率 7% 「いわてっこ」と「飼料用米」の作付面積 300ha	
	成果	1 団地化一斉防除 集団防除の面積が拡大するとともに新たな組合等が組織化されるなど、効果的な防除体制の整備によりカメムシ被害の減少が図られた。 2 飼料用米・いわてっこの作付拡大支援 飼料用米及びいわてっこの出荷に係る「JAカントリー利用料の一部を」Aいわて花巻とともに補助し、作付面積の確保に努めた。 3 交流推進事業 生産者と消費者の顔が見える交流事業として、消費地で販売促進活動を実施し、遠野産米の販路確保に向けた取り組みを推進した。			実績値	カメムシ被害率 1% 「いわてっこ」と「飼料用米」の作付面積 284ha
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
9,744,000	9,063,160	330,000	0	500,000	8,233,160	

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費		
事業名		農地利活用推進事業費				単位：円	
事業内容	<p>農林水産振興ビジョンの達成と効果的な農業振興を図るため、関係機関及び団体の連携と協働体制の強化、農地の利用集積を推進する。更には、農地活用を推進する地域農業マスタープラン達成のため、農地中間管理事業を活用して中心経営体に集積を図る。</p> <p>併せて、耕作放棄地及び不作為付地の拡大、発生を防止し、農地利用再生を実施するため農業再生に係る経費を助成する。</p> <p>・農地再生に係る経費を助成 耕作放棄地解消 5万円/10a 周辺農地対策 2万円/10a 不作為付地解消 3万円/10a</p>				計画値	再生面積	3.00ha
	成果	<p>農地の利用集積及び農地活用を推進する地域農業マスタープラン達成のため、農地利用集積アドバイザー1名雇用。</p> <p>農地利用集積アドバイザーの活動により3年以上不作為付地であった農地の再生が行われ営農が再開された。</p> <p>附馬牛町1件・松崎町1件・土淵町2件・上郷町3件・宮守町2件、計9件 事業費1,191,000円に対して、補助金681,000円を交付した。</p>				実績値	再生面積
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
3,460,000	2,999,637	0	0	2,999,637	0		

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費		
事業名		集落営農育成支援事業費				単位：円	
事業内容	<p>農林水産振興ビジョン（タフ・ビジョン）の『7つの目指すべき姿』の実現にむけて、関係機関との連携及び協力体制の更なる強化を図る。</p> <p>また、各種重点課題への取り組みのため、専門的農業知識や農業振興に豊富な経験を有する人材を確保することにより集落営農の組織強化及び新たな担い手農家の育成支援を促進し一層の農業振興を図る。</p>				計画値	集落営農組織数	21組織
	成果	<p>集落営農支援アドバイザーの活動等により1組織が法人設立に至った。</p> <p>新たな集落営農組織の設立には至らなかったものの、2組織が組織設立に向けた話し合いを開始した。</p> <p>地域の担い手である認定農業者の現状維持に向け、担い手支援アドバイザーの訪問指導等の活動により3経営体が新たに追加、12経営体が辞退となった。</p>				実績値	集落営農組織数
			財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,777,000	5,621,092	0	0	0	5,621,092		

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費
事業名					単位：円
アスト加速化事業費					
事業内容	<p>遠野の特色を活かした農産物の生産振興及び遊休施設等の有効活用を図るため、意欲のある農業者及び農業団体が所得の向上のため実施する取組に対し支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲ある就農者等へ生産拡大支援 ・重点品目等の栽培面積維持拡大への支援 ・農業に関する研修等への支援 ・農業情報の発信 			計 画 値	遊休ハウス等の導入 10棟 園芸重点品目栽培推進支援 ピーマン（トンネル栽培） 30 a アスパラガス 200 a ニラ 100 a ほうれんそう（夏期栽培） 資材支援 3 棟 研修支援 7 団体 情報発信 アスト通信放映
	成果	<p>重点品目や園芸品目を中心に、意欲ある農業者や農業団体の取り組みに対して支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点品目栽培拡大支援事業等 34事業への支援を実施 ・栽培指導、営農研修等への支援 ・「アスト通信」の収録、放映（毎週水曜日 遠野テレビ） 			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
28,817,000	24,974,030	1,701,000	0	7,540,000	15,733,030

06款	農林水産業費	01項	農業費	03目	農業振興費																		
事業名					単位：円																		
担い手確保・経営強化支援事業費（繰越明許費）																							
事業内容	<p>国の「総合的なTPP関連政策大綱」に即し、次世代を担う経営感覚に優れた経営体を育成するために、意欲ある農業者に対し、経営発展に必要な農業用機械の導入を支援する。</p>			計 画 値	対象地区 2 地区 附馬牛町 黒毛和種 土淵町 乳用牛																		
	成果	<p>経営の拡大に意欲的に取り組む、これからの農業界をリードする優れた担い手の経営発展のため、農業用機械導入を支援した。</p> <p>【機械の導入状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>附馬牛町</td> <td>トラクター</td> <td>1 台</td> <td>土淵町</td> <td>トラクター</td> <td>1 台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスクモア</td> <td>1 台</td> <td></td> <td>ホイールローダ</td> <td>1 台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>他</td> <td>4 台</td> <td></td> <td>他</td> <td>1 台</td> </tr> </table>			附馬牛町	トラクター	1 台	土淵町	トラクター	1 台		ディスクモア	1 台		ホイールローダ	1 台		他	4 台		他	1 台	実 績 値
附馬牛町		トラクター	1 台	土淵町	トラクター	1 台																	
	ディスクモア	1 台		ホイールローダ	1 台																		
	他	4 台		他	1 台																		
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳																					
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源																		
21,465,000	18,361,000	18,361,000	0	0	0																		

06款	農林水産業費	01項	農業費	04目	畜産業費	
事業名					畜産振興総合対策事業費	単位：円
事業内容	<p>地域畜産業の振興を図る上で、生産意欲向上、各種協議会負担金などソフト的な支援を実施する。 公共牧場の機能維持向上を図り、豊富な草資源を生かした放牧利用をしながら、低コスト、高能力、高品質な家畜生産に取り組む。 また、酪農経営の向上を図るための牛群検定の推進を図るなど、地域畜産の総合的な振興を図る。</p>			計 画 値	<p>牛群検定普及定着化 18戸・480頭 養豚出荷頭数 26,000頭 プロイラー出荷羽数 642,000羽</p>	
	成果	<p>農家の生産意欲向上、地域畜産物の普及推進、安心・安全の確保のため各種協議会へ参画や、法制化がなされた畜産物の価格安定対策事業への参加など、畜産経営の支援と指導に努めることができた。 また、県内の死亡獣畜処理施設の閉鎖による死亡牛の処理に当たっては、関係機関との連携により、県南家畜保冷保管施設を建設することができた。 なお、保冷保管施設が稼動するまで、死亡牛の処理に対して運搬助成を行った。</p>			実 績 値	<p>牛群検定普及定着化 17戸・447頭 養豚出荷頭数 24,657頭 プロイラー出荷羽数 996,000羽 死亡牛処理頭数 244頭</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
13,395,000	11,732,615	1,487,189	0	248,000	9,997,426	

06款 農林水産業費		01項 農業費		04目 畜産業費	
事業名 馬事振興ビジョン推進事業費					単位：円
事業内容	<p>1 市内の乗用馬の生産振興と遠野産馬の品質向上を図るため遠野市乗用馬生産組合が「遠野市乗用馬市場」へ上場することを目的に遠野馬の里へ預託した際に掛かる経費の一部を助成する。</p> <p>2 市内の馬資源の確保及び生産頭数増加を図るため飼養管理費等の低コスト化の支援や種付け料を助成する。</p> <p>3 馬とのふれあいを通して、地域のにぎわい創出や観光交流人口の拡大に寄与するため「まちなか馬車運行」を実施する。</p>			<p>馬市場取引額 2,350万円</p> <p>馬生産頭数 30頭</p> <p>まちなか馬車運行乗車人数 80人</p>	
				計 画 値	
成果	<p>1 第43回遠野市乗用馬市場の売上げ総額は、1,994万円と計画値を下回ったが、昨年度より106万円上回った。販売頭数の増、1歳馬売却率が微増したことが要因の1つである。また、基礎調教済みの2歳馬、3歳馬の売却率が好調であったことから遠野馬の里へ預託したことが成果につながった。</p> <p>2 生産者の飼養管理経費の軽減として、乗用馬においては遠野馬の里の越冬放牧施設の利用を促進し低コスト化を図った。また、農用馬生産者に対して、種付け料の助成や子馬生産奨励金交付制度の周知、活用を図った。馬生産頭数は計画値を上回ったが、引き続き支援の継続が必要と考える。</p> <p>3 「まちなか馬車運行」は、7月23日(土)から8月27日(土)までの期間の土日を中心に実施した。当初9回の予定が馬運車の故障のため8回の運行となり、馬車乗車人数は減少したが、夏休み期間とSL銀河停車時間に合わせ、乗車客や観光客に馬とのふれあいの場と地域のにぎわいの場を提供できた。</p>			<p>馬市場取引額 1,994万円</p> <p>馬生産頭数 33頭</p> <p>まちなか馬車運行乗車人数 68人</p>	
				実 績 値	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,815,000	4,233,540	0	0	0	4,233,540

06款 農林水産業費		01項 農業費		04目 畜産業費	
事業名 肉用牛増産対策推進事業費					単位：円
事業内容	1 黒毛和種繁殖雌牛の更新や飼養規模拡大を図るための、優良繁殖子牛導入や優良牛自家保留に対して支援し、効率的で生産性の高い畜産経営を維持・拡大するとともに、黒毛和種子牛の産地形成を図る。 また、繁殖から肥育までの一貫した生産体制を築き「いわて遠野牛」のブランドの確立及び普及定着並びに肥育農家の生産意欲の高揚を図るとともに、肥育素牛の地域内保留推進を図る。			計 画 値	1 いわて遠野牛生産目標 飼養頭数 繁殖牛 2,550頭 肥育牛 2,250頭 出荷頭数 子牛 1,760頭 肥育牛 1,200頭 黒毛和種優良素牛導入数 150頭 肥育素牛地域内保留数 100頭 2 支援団体数 1 団体
	2 競争力のある経営体の育成を図るため、担い手、集落営農、生産組織等が実施する基盤整備、機械、施設整備に対して支援を行う。				
成果	1 黒毛和種優良繁殖子牛の導入や自家保留に対し支援を行い、繁殖牛飼養頭数の拡大を図ることができた。 また、市内で生産された黒毛和種子牛を肉用牛肥育素牛として導入又は保留を支援し、一貫生産体制の構築に努めた。			実 績 値	1 いわて遠野牛生産量 飼養頭数 繁殖牛 2,984頭 肥育牛 1,785頭 出荷頭数 子牛 1,714頭 肥育牛 1,074頭 黒毛和種優良素牛導入数 189頭 肥育素牛地域内保留数 100頭 2 東禅寺和牛繁殖組合 牛舎 1 棟・堆肥舎 1 棟
	2 新規就農者を中心とした団体に対し、牛舎、堆肥舎の整備を行い、地域の担い手の確保と新規就農者の育成を図った。				
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
28,966,000	28,559,808	6,319,000	0	0	22,240,808

06款 農林水産業費		01項 農業費		04目 畜産業費	
事業名 畜産クラスター推進事業費					単位：円
事業内容	地域の畜産業の高度化及び関係者の連携による、畜産の生産性向上に取組み及び収益性の向上を図る。 1 生産活動拠点機能高度化推進事業 市内の、大家畜生産活動拠点としての役割を担う市営牧野の機能を充実させ、遠野市畜産振興公社の公益性の向上を図る。 2 畜産競争力強化整備事業 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策のため国庫事業として創設された基金を活用し、市内畜産クラスター協議会が計画する搾乳牛舎及び附帯設備等の整備を支援する。			計 画 値	支援団体数 2 団体
	1 生産活動拠点機能高度化推進事業 遠野市畜産振興公社の生産性及び収益性向上を図るため繁殖雌牛の導入や飼料購入費等への補助を行い、経営の安定化を図った。 2 畜産競争力強化整備事業（繰越明許） 岩中酪農南地区クラスター協議会（宮守町達首部）について、造成工事に時間を要したため年度内の完成が見込めず、平成29年度に繰越した。				
成果	1 生産活動拠点機能高度化推進事業 遠野市畜産振興公社の生産性及び収益性向上を図るため繁殖雌牛の導入や飼料購入費等への補助を行い、経営の安定化を図った。 2 畜産競争力強化整備事業（繰越明許） 岩中酪農南地区クラスター協議会（宮守町達首部）について、造成工事に時間を要したため年度内の完成が見込めず、平成29年度に繰越した。			実 績 値	支援団体数 1 団体
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
73,392,000	10,000,000	0	0	0	10,000,000

06款	農林水産業費	01項	農業費	06目	農地費
事業名					単位：円
県営ほ場整備事業費					
事業内容	1 負担金 経営体育成基盤整備事業（荒屋地区）実施設計、工事費にかかる経費の1割を負担する。 受益面積 33ha 事業期間 平成27年度～平成32年度 総事業費 689百万円			計 画 値	負担金 42,500,000円 業務委託 1件
	2 岩手県農業経営高度化支援事業 担い手農家を中心に、効率的土地利用及び農業経営を確立するため、農地の集団化による構築連携の確立と低減化を図ることを目的に実施する。				
成果	1 負担金 県営ほ場整備事業経営体育成基盤整備事業（荒屋地区）に係る実施設計、換地計画原案策定を実施。国の経済補正の割り当てにより平成29年度に繰越して工事を行う。実施設計、工事費に係る負担金を支出。 負担額：418,016,000円×0.1＝41,801,600円			実 績 値	負担金 41,801,600円 業務委託 1件
	2 岩手県農業経営高度化支援事業 農地の集積・集約化及び生産コスト低減化を図るため、農地流動化調整、生産組織育成強化活動を実施。農地利用計画についてアンケート調査を行い農家の意向及び集積率の把握。生産コスト削減の勉強会を行った。 業務委託 1件 200,000円				
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
42,012,000	42,001,600	110,000	38,000,000	0	3,891,600

06款	農林水産業費	01項	農業費	06目	農地費
事業名					単位：円
多面的機能支払事業費					
事業内容	地域における農地・水・環境の良好な保全と資質向上を図るため、農地・農業用水・農道等の保全向上に関する維持活動、地域ぐるみでの共同活動、並びに、非農業者・子どもを含めた多様な参画者による農村環境保全活動、さらに、老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新等を行う取組に対して交付金を交付し、総合的に支援する。 交付金の負担区分・割合は、国2分の1、県4分の1、市4分の1となっており、それぞれの負担分は遠野市に交付され、遠野市から各活動組織に交付金を交付している。			計 画 値	活動組織数 維持 70活動組織 共同 53活動組織 長寿命化 41活動組織 協定農用地面積 維持 254,149 a 共同 208,170 a 長寿命化 152,374 a 取組農用地の割合 58.4%
	全ての活動組織において農地維持活動が行われ、耕作放棄地発生防止に効果があった。 共同活動実施活動組織では、遊休農地解消に向けた取り組みや水路、農道の修繕活動のほか、農村環境保全の取り組みとして小・中学生や老人クラブなどの参画による花壇整備やゴミ拾い、水質調査等が行われ、農業用施設及び農村環境の保全が図られた。 遠野市の農振農用地（田）のカバー率は平成27年度56%に対し、平成28年度は61%と増加した。新規で8活動組織が追加になり、農振農用地のカバー率は、対前年で5%上がる等の成果があった。				
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
154,930,000	154,820,932	116,017,978	0	0	38,802,954

06款	農林水産業費	01項	農業費	07目	六次産業費	
事業名					遠野ローカルベンチャー事業費	単位：円
事業内容	<p>総務省の「地域おこし協力隊制度」により、都市部の若者等を地域おこし協力隊員として受入れ、地域資源（ホップ、どぶろく等）を活用した起業家を最長3年間の期間内で育成し、産業振興及び市内への定住を推進する。</p> <p>1 内発型、外発型の起業家育成 2 農業を基本に据えた六次産業の振興による市全体の総合産業の底上げ 3 観光と交流人口の拡大と首都圏等からの移住・定住の促進</p>			計画値	<p>地域おこし協力隊員 12人 ・農業活性化担当 1名 ・旧上郷中学校校利活用担当 1人 ・起業特化型隊員10人</p>	
	成果	<p>平成27年度から任用している2名（農業活性化担当、旧上郷中学校校利活用担当）の活動支援を継続して実施した。 農業活性化担当の隊員は、平成29年4月からホップ農家として自立。 また、平成28年度は新たに起業特化型の隊員を受け入れるため、隊員の募集及び選考業務を支援機関へ委託して行い、9月1日付けで9名の隊員を任用し、隊員の活動支援を行った。</p>			実績値	<p>地域おこし協力隊員 11人 ・農業活性化担当 1人 ・旧上郷中学校校利活用担当 1人 ・起業特化型隊員 9人</p>
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
30,414,000	29,498,424	0	0	0	29,498,424	

06款	農林水産業費	01項	農業費	07目	六次産業費	
事業名					六次産業化・地産地消推進事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野スタイル創造・発展総合戦略や遠野市六次産業化・地産地消推進戦略に基づき、六次産業化・地産地消等に関する施策を推進する。 また、とおののもの・こころ海外経済交流プロジェクトに取り組み、地方創生を推進する。</p> <p>市の推進体制 遠野市六次産業推進本部 … 産業振興部と農林畜産部で構成 地域の推進体制 遠野市六次産業化・地産地消推進協議会 … 行政、金融、農業団体、商工団体、事業者等で構成 遠野市産直連絡協議会 … 農産物直売所で構成</p>			計画値	<p>六次産業化推進効果額 [H28 K P I] 17.0億円 農産物直売所売上額 5.5億円 特産品等販売額 6.8億円 大学等共同研究数 1件 海外での物産展開催 1回 特産品等輸出額 30万円</p>	
	成果	<p>六次産業化の推進にあたっては、商品開発コーディネーターを配置し、新商品開発や商品改良の相談に対応したほか、遠野ふるさと公社等市内事業者の商談会、物産展への出展など、国内の販路拡大に努めた。 また、六次産業化におけるキャラクター効果をテーマに、岩手大学との共同研究を実施した。 地産地消の推進においては、遠野市産直連絡協議会、遠野市産直給食会を通じて、農薬適正管理等の安全・安心対策に取り組んだ。 地方創生の推進では、とおののもの・こころ海外経済交流プロジェクトとして、台湾の高級スーパーマーケットと地方創生連携協定を締結し、遠野の縁がある台湾への輸出、物産展開催に取り組んだ。</p>			実績値	<p>六次産業化推進効果額 [H28推計値] 17.1億円 農産物直売所売上額 6.1億円 特産品等販売額 6.8億円 大学等共同研究数 1件 海外での物産展開催 1回 特産品等輸出額 84万円</p>
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
16,794,000	15,771,818	7,442,470	0	1,500,000	6,829,348	

06款	農林水産業費	01項	農業費	07目	六次産業費
事業名					単位：円
商工業チャレンジ応援事業費					
事業内容	市内の中小企業や各種法人、団体を支援し市内産業の活性化を図るため、商品開発、既存商品改良、大学等との連携による共同開発、起業に要する委託料、市場調査費、広告宣伝料、原材料費、商業登記費等の経費を補助する。			計 画 値	新商品開発事業 1件 既存商品改良事業 1件 起業応援事業 1件 産学連携共同研究事業 1件
	1 新商品開発事業 限度額50万円 補助率3/4 2 既存商品改良事業 限度額50万円 補助率3/4 3 起業応援事業 限度額20万円 補助率3/4 4 産学連携共同研究事業 限度額50万円 補助率3/4				
成果	1 新商品開発事業 ・遠野パドロンフリット開発 2 既存商品改良事業 ・国体向けわさびしょうゆ漬けパッケージ変更 ・国体向けりんご商品(干しりんご、ジュース)パッケージ、包装改良 ・国内向け市内生産ホップ使用ビールラベルデザイン変更 ・国内向けブルーベリーパッケージ改良 ・海外(台湾)向け乳製品の販路開拓 ・海外(台湾)向け日本酒の販路開拓 ・海外(スペイン)向けどぶろくの販路開拓			実 績 値	新商品開発事業 1件 既存商品改良事業 7件
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,200,000	2,824,000	977,000	0	0	1,847,000

06款	農林水産業費	01項	農業費	08目	地籍調査費
事業名					単位：円
地籍調査事業費					
事業内容	一筆地調査及び測量等 上郷町細越・佐比内の一部 調査面積5.75k m ² 地積測定及び地籍図原図等作成 上郷町細越・平倉・佐比内の一部 調査面積3.27k m ²			計 画 値	一筆地調査 5.75km ² 閲 覧 3.27km ² 進 捗 率 85.90%
	一筆地調査(現地調査)は、上郷町の一部 5.75km ² を対象に実施し、所有する土地一筆ごとに隣接者と立会により境界を決定し、測量を行った。 また、平成27年度に一筆地調査を行った上郷町の一部 3.27km ² は、地籍図原図と地籍簿案を作成し閲覧を行った。閲覧後は国及び県の認証を受け、法務局へ調査の成果を送付することとなる。				
成果				実 績 値	一筆地調査 5.75km ² 閲 覧 3.27km ² 進 捗 率 85.90%
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
39,120,000	38,890,918	27,000,000	0	0	11,890,918

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費	
事業名 市有林造林事業費					単位：円
事業内容	遠野市市有林造成基金条例の目的に基づき、産業の振興、学校施設の整備充実、災害復旧その他特別な事件に要する経費に充てるため、市有林の造成を図る。 市有林面積 第一種市有林 1,964.0ha 第二種市有林 103.7ha 計2,067.7ha 推定材積 60万m3			計画値	間伐 20.00ha 造林 8.00ha 下刈 13.56ha 作業道整備 4箇所 樹種転換 6.00ha
	間伐等の施業実施による市有林の造成を図り、森林の公益的機能を増進させるとともに、林業従事者の雇用の創出を図ることができた。 なお、間伐事業及び樹種転換事業、作業道事業については、台風被害により事業実施市有林の選定に時間を要したため、平成28年度より着手し、平成29年度に繰り越して実施することとした。				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
34,481,000	4,405,320	1,873,287	0	1,830,033	702,000

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費	
事業名 国土保全森林対策事業費					単位：円
事業内容	森林の公益的機能を高度に発揮するため、また、市内森林資源の質を高めるため、森林所有者等による森林整備に対して助成を行い、総合的かつ集中的な間伐の実施、及び、造林・保育の促進を図る。 具体的には、国・県の間伐等補助事業への嵩上げと、間伐材を搬出した経費等に対して単独で助成を行う。 森林整備事業（国・県補助68%対象事業）への嵩上げ22% 間伐材搬出 1,800円 / 1 m3			計画値	除間伐事業実施面積 300ha 造林事業実施面積 50ha 間伐材搬出量 3,000m3
	間伐、造林等の森林整備の着実な実施及び間伐材の搬出が行われたことにより、水源かん養、土砂流出防止等森林の有する多面的な機能が維持・増進された。 また、伐採後の再造林等の実施により、適切な森林整備を行うことができた。				実績値
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25,000,000	24,998,488	0	0	0	24,998,488

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費	
事業名 松くい虫対策事業費					単位：円
事業内容	平成23年度から遠野市内全域が松くい虫の被害地域に拡大された。被害地域が西側から拡大してきており、当市は被害の先端地域に位置している。その被害拡大を防ぐため、薬剤注入による防除作業と枯損木を発見した場合の伐倒駆除作業を行う。			計 画 値	駆除処理材積 600m3 樹幹注入 100本
	成果	岩手県森林病虫害防除員、遠野地方森林組合及び市内林業事業体との連携により監視体制を強化し、市内全域での被害の早期発見・早期駆除の徹底を図っており、この取り組みが功を奏し、被害を遠野市内で抑え込んでいる状況である。 また、被害木の駆除の他、景観保全のため福泉寺周辺のアカマツに対して薬剤を注入し、松くい虫被害の予防にも努めた。			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
16,772,000	16,686,084	12,878,212	0	0	3,807,872

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費	
事業名 森林のくに振興事業費					単位：円
事業内容	間伐等の森林整備を実施しようとする森林所有者の、事業実施前に支払う前金の負担を軽減するため、遠野地方森林組合に対して補助相当額を貸し付けることで円滑な事業実施を推進する。 貸付金は、事業完了後に県から補助金が交付された時点で精算、返戻される。			計 画 値	森林整備面積 330ha
	成果	森林所有者の一時的な負担を軽減することができ、健全な森林の育成及び間伐作業員の雇用による地域山村の振興と活性化を図ることができた。			実 績 値
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳		
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
25,000,000	25,000,000	0	0	25,000,000	0

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費		
事業名 里山美林推進事業費					単位：円	
事業内容	平成18年度から岩手県が導入した「いわての森林づくり県民税」による県民参加の森林づくり促進事業の県産材利用活動事業を促進し、市内小学生への森林整備活動の必要性や森林の公益的機能についての啓発、地域材の理解等の森林学習を行う。			計 画 値	県民参加の森林づくり促進事業参加者数 2校延べ50人	
	成果	附馬牛小学校の児童を対象に、原木しいたけ栽培の体験、学校に隣接する学校林探索及び木工工作を実施した。 また、遠野小学校に整備する木製の机と椅子について、実際に利用する児童に対し、製作工程を見学してもらい、さらにスギの枝打ち作業と木工工作を実施し、製品がどのような過程を経て完成するのかを学ぶ場を設けた。 実際の作業を体験してもらうことにより、地域材の活用が森林にもたらす効果等について理解を深め、森林保全への意識啓発を促すことができた。			実 績 値	県民参加の森林づくり促進事業参加者数 附馬牛小学校 延べ43人 原木しいたけ本伏せ作業 学校林散策 木工教室 遠野小学校 48人 工場見学 枝打ち体験 木工教室
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
206,000	171,591	170,000	0	0	1,591	

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費		
事業名 原木しいたけ生産振興事業費					単位：円	
事業内容	平成23年3月の東京電力(株)福島第一原子力発電所事故による影響で出荷が規制された原木栽培しいたけについて、早期出荷の再開と生産継続を図る必要がある。 このため、遠野市しいたけ産業推進協議会員に対して、原木しいたけの栽培経費の一部を助成し、原木しいたけの生産継続を促す。			計 画 値	椎茸振興共進会の開催 1回 生産者への助成 20人 生産量 1.8t	
	成果	放射性物質への対策としてほだ木が大径化してきていることから、種菌の補助対象上限数を拡充し、さらに生産性向上のための資材購入費も補助対象として、新たに原木しいたけ生産継続対策事業として補助を実施した。 生産者21人の原木31,419本の調達と種菌785,400個に対して4,456,290円を交付し、資材購入費については7人に383,000円を交付した。 椎茸振興共進会についても継続して開催することができ、生産者にとって厳しい状況が続く中、品評会へ15品の申込みがあり、しいたけ生産技術と意欲の向上を図ることができた。 各種施策に取り組んでいるが、出荷制限一部解除者が22人に留まっている現状であり、生産量の目標は達成することができなかった。			実 績 値	椎茸振興共進会の開催 1回 生産者への助成 21人 生産量 1.6t
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,343,000	5,161,570	0	0	0	5,161,570	

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費	
事業名 緑のふるさと協力隊受入事業費					単位：円
事業内容	山村に大きな関心を持った若者たちが農林業等の活動体験を通して、社会貢献を果たすことを目的として、地球緑化センターが派遣する若者を受け入れる。			計 画 値	受入隊員数 1人 活動日数 240日 (活動期間4月～3月) 情報発信 ブログ公開 45回 ふるさと通信 2回 活動報告会 2回
	市内の農家、農業生産法人、市が行うイベント等での活動のほか、伝承保存活動への参加など、積極的に住民と触れ合うことで地域住民や各種団体の活性化が図られた。 また、活動を通じて知り得た「遠野」をインターネット(で・くらす遠野サイト内)で、市内外に情報を発信した。 今後もこの事業を継続して実施し、「遠野」の情報発信に努めていく。				実績 値
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,657,000	2,448,486	0	0	2,000,000	448,486

06款 農林水産業費		02項 林業費		02目 林業振興費	
事業名 森林整備地域活動支援事業費					単位：円
事業内容	森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、森林経営計画等による計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、森林整備地域活動支援交付金を交付する。 森林所有者又は森林経営の委任を受けた者による森林経営計画の作成を促進を支援する。			計 画 値	森林経営計画作成面積45ha
	市内4カ所の山林における現地調査実施により、森林経営計画策定のための情報収集に要した実費に対し、交付金を交付した。				実績 値
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,140,000	1,131,987	855,268	0	0	276,719

06款	農林水産業費	02項	林業費	02目	林業振興費	
事業名					木質バイオマスエネルギー活用推進事業費	単位：円
事業内容	<p>林野庁が行う「木質バイオマスエネルギーを活用したモデル地域づくり推進事業」の委託を受け、再生可能エネルギーである林地残材や工場端材などの森林資源の循環利用について、地域一体となって木質バイオマスエネルギーの利用システムや新たなシステムの実証に取り組む。</p> <p>1 小型チップボイラーの整備による、チップ利用拡大の実証 2 森林から低コストにチップを供給するための機械整備と実証 3 大型パークボイラー整備による、パークの有効活用と熱生産の実証</p>			計画値	<p>小型ボイラーの実証 林業機械の実証 チップ保管施設の実証 大型ボイラーの実証</p>	
	成果	<p>概ね3年間の実証事業最終年度として、各設備を用いて実証を行った。小型ボイラーはたかむる水光園に導入し、1年間以上フル稼働させた。実証の結果、年間の燃料費を50万円ほど削減することができた。チップャーが山で作業した場合、効率が低下しカタログ値の約半分の生産量に留まることがわかった。チップヤードは、チップを性質別に保管する必要があり、丸太材の乾燥場所確保のためにも、拡張を検討する必要がある。大型ボイラーについては木工団地内に導入し、木材乾燥の実証を行った。105m3の乾燥材を複数の乾燥機を用いて、熱需要のピークをずらして実証を行った結果、熱需要への対応性、蒸気量共に問題なく、乾燥材の仕上がりも良好であった。材積を増やし、熱需要ピークの負荷を上げた場合の適応性を調べるため、さらなる実証が必要な状況である。</p>			実績値	<p>小型ボイラーの実証 林業機械の実証 チップ保管施設の実証 大型ボイラーの実証</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
200,311,000	200,304,314	190,272,723	0	0	10,031,591	

06款	農林水産業費	02項	林業費	02目	林業振興費	
事業名					森林資源好循環加速化事業費	単位：円
事業内容	<p>新エネルギービジョンにおいて、豊富に存在する木質バイオマス利用を重点プロジェクトとして位置付けている。林野庁実証事業の取組により、燃料となるチップは十分供給可能であるが、その燃料を利用する需要側の開拓が課題である事が判明した。この需要開拓を進めるため、公共施設へのチップボイラー導入の可能性を探るため各種調査を行い、今後のチップボイラー導入に向けた検討の基礎資料として成果品を活用する。</p>			計画値	<p>市内公共施設へのチップボイラー導入可能性調査 9施設の調査</p>	
	成果	<p>本事業の実施に際し、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の採択が得ることができた。補助金の活用により、公共施設9箇所について、熱利用状況、ボイラーの配置場所及び既存設備の老朽化などを総合的に比較し、費用面と環境面の導入効果を試算するなど、詳細な調査を行うことができた。</p>			実績値	<p>市内公共施設へのチップボイラー導入可能性調査 9施設の調査</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
10,941,000	9,936,000	0	0	9,936,000	0	

06款	農林水産業費	02項	林業費	02目	林業振興費	
事業名					菌床しいたけ生産資材導入事業費	単位：円
事業内容	被災地の復興、食糧基地の形成、特用林産施設の効率化のため、被災生産者等の周年生産・出荷体制に必要な生産資材の導入を支援する。			計画値	実施団体 1組合	
	成果	しいたけの周年生産・出荷体制の構築と維持に向け、組合の生産資材（菌床）導入経費の一部を支援した。 震災後の風評被害等により、壊滅的な被害を被り、危機的状況であった菌床しいたけ生産であったが支援を行ったことにより、安定した周年集出荷体制を維持することができ、しいたけの生産量を維持することができた。 平成28年遠野菌床しいたけ生産組合実績 菌床 928,321床 しいたけ生産量 271 t			実績値	実施団体 遠野菌床しいたけ生産組合 補助対象となった 生産資材導入実績 689,429床
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
35,641,000	35,640,000	35,640,000	0	0	0	0

06款	農林水産業費	02項	林業費	02目	林業振興費	
事業名					市有林造林事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	遠野市市有林造成基金条例の目的に基づき、産業の振興、学校施設の整備充実、災害復旧その他特別な事件に要する経費に充てるため、市有林の造成を図る。 市有林面積 第一種市有林 1,964.0ha 第二種市有林 103.7ha 計2,067.7ha 推定材積 60万m3			計画値	間伐 8.99ha 樹種転換 1.71ha 作業道 3カ所	
	成果	間伐等の施業実施による市有林の造成を図り、森林の公益的機能を増進させるとともに、林業従事者の雇用の創出を図ることができた。 なお、樹種転換事業は伐採するアカマツを木質バイオマス(燃料用チップ)として利用し、平成28年度に完了した。 また、県からの追加実施要望により、平成27年度途中に予算措置し、着手した間伐事業についても、平成28年度に完了した。			実績値	間伐 8.99ha 樹種転換 1.71ha 作業道 3カ所
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
11,149,000	9,093,600	5,789,408	0	3,304,192	0	0